

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 11 日 (2019.7.11)

【公開番号】特開 2019-31567 (P2019-31567A)

【公開日】平成 31 年 2 月 28 日 (2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-008

【出願番号】特願 2018-208003 (P2018-208003)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/65 (2006.01)

A 6 1 K 31/663 (2006.01)

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 K 38/29 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 1 2 N 15/13 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/395 Z N A D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 31/65

A 6 1 K 31/663

A 6 1 K 38/22

A 6 1 K 38/29

A 6 1 K 39/395 Y

A 6 1 P 1/02

A 6 1 P 19/08

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 15/13

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 7 日 (2019.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

歯槽骨の消失を患っている対象における歯槽骨の高さを増加させるための、抗スクレロスチン抗体を含む組成物であって、前記抗スクレロスチン抗体は、以下：

- a) 配列番号 48、49 および 50 の CDR 配列ならびに配列番号 45、46 および 47 の CDR 配列、
- b) 配列番号 42、43 および 44 の CDR 配列ならびに配列番号 39、40 および 41 の CDR 配列、
- c) 配列番号 275、276 および 277 の CDR 配列ならびに配列番号 287、288 および 289 の CDR 配列、
- d) 配列番号 278、279 および 280 の CDR 配列ならびに配列番号 290、291 および 292 の CDR 配列、
- e) 配列番号 281、282 および 283 の CDR 配列ならびに配列番号 293、294 および 295 の CDR 配列、

- f) 配列番号284、285および286のCDR配列ならびに配列番号296、297および298のCDR配列、
g) 配列番号116、237および238のCDR配列ならびに配列番号266、267および268のCDR配列、または
h) 配列番号242、243および244のCDR配列ならびに配列番号272、273および274のCDR配列を含む抗スクレロスチン抗体を交差妨害するかまたはそれにより交差妨害されるものであり、

ここで前記組成物中の前記抗スクレロスチン抗体が、配列番号2（DVSEYSCRELHFTR；配列番号1のアミノ酸51～64に対応する）、配列番号3（SAKPVTELVCSGQCGPAR；配列番号1のアミノ酸73～90に対応する）、配列番号4（WWRPSGPDFRCIPDRYR；配列番号1のアミノ酸101～117に対応する）、および配列番号5（LVASCKCKRLTR；配列番号1のアミノ酸138～149に対応する）を含む配列番号1の一部領域に結合する、組成物。

【請求項2】

前記抗スクレロスチン抗体を約120から270mgまでの量で投与するための、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

週に2回投与するための、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記対象の病変歯肉部または病変歯周ポケットへ局所的に投与するための、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記抗スクレロスチン抗体の投与前にペリオスタット（Periostat）（登録商標）または化学修飾テトラサイクリン 3（CMT 3）からなる群より選択される標準ケア治療薬を投与することを含む治療方法において用いるための、請求項1～4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

副甲状腺ホルモン、テリパラチド、ビスホスホネート、RANKL抗体およびDKK1抗体からなる群より選択される第2骨強化治療薬を投与することを含む治療方法において用いるための、請求項1～5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

前記治療方法において、前記抗スクレロスチン抗体を用いる治療期間が終了した後に前記第2骨強化治療薬が投与される、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

前記抗スクレロスチン抗体を投与することに加えて、歯槽骨の維持のために少なくとも12週間の維持期間にわたって前記抗スクレロスチン抗体を投与することを含む治療方法において用いるための、請求項7に記載の組成物。

【請求項9】

前記抗スクレロスチン抗体が重鎖と軽鎖を含む免疫グロブリンである、請求項1または4に記載の組成物。